



# たてやま議会だより

●平成22年5月号 ●No.89 ●発行/館山市議会 ●☎294-8601 館山市北条1145-1 ●電話 0470-22-3527  
議会のメールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



## 祝 館山港多目的観光棧橋竣工

平成22年4月25日(日) 主催：館山市

4/25多目的観光棧橋竣工式

平成22年第1回臨時市議会(2月12日開催)  
平成21年度一般会計補正予算  
(第8号)の1議案を議決

平成22年3月定例会市議会

平成22年度予算など29議案を  
議決、議員定数等調査特別委  
員会を設置

3月定例会市議会は、2月25日から3月19日までの会期23日間にわたって開かれ、市長提案の27議案と議会提出の2議案が原案どおり可決されました。

会議初日(2月25日)は、会期を23日間と決定した後、市長から新年度の施政方針演説及び各議案について提案理由の説明が行われました。

3月2日及び3日は、11人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをいただきました。

3月8日は、新年度予算を除く各議案について質疑を行った後、所管の常任委員会に審査を付託しました。

3月10日は、新年度予算に対する質疑を行った後、予算審査特別委員会を設置し、審査を付

託しました。

最終日(3月19日)は、各委員会の委員長が、委員会での審査の経過及び結果を報告した後、討論、採決を行いました。

続いて、追加議案の審議を行い、閉会しました。

### 主な内容

- ★議案の概要 2頁
- ★委員会審査 3~4頁
- ★一般質問 5~9頁
- ★議決結果 10頁

# 議案の概要

第1回臨時会に提案された議案を紹介します。

議案第1号 平成21年度館山市一般会計補正予算(第8号)  
Ⅱ歳入歳出それぞれ1億4816万4千円を追加し、総額175億1587万円としようとするもの。

国の21年度第2次補正予算の「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」によるコミュニティセンター改修事業、道路維持管理事業、道路新設改良事業、河川整備事業、博物館本館整備事業の増額など。また、海区漁業調整委員会委員補欠選挙費用や債務負担行為の補正など。

3月定例会に提案された主な議案を紹介します。

議案第2号〜議案第8号 平成22年度館山市一般会計予算及び6特別会計予算Ⅱ下表

平成22年度一般会計・特別会計予算 (単位:千円)

会計名	本年度予算	対前年比	
一般会計	15,587,000	△ 3.1%	
特別会計	国民健康保険	6,207,456	△ 2.3%
	老人保健	10,939	△ 56.4%
	後期高齢者医療	695,260	21.8%
	介護保険	3,926,873	3.5%
	学童災害共済事業	1,664	△ 1.0%
下水道事業	921,570	5.7%	
合計	27,350,762	△ 1.3%	

町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてⅡ安房郡市広域市町村圏事務組合の事務所を移転することに伴い、組合規約の一部を改正することについて、関係地方公共団体と協議しようとするもの。

議案第11号 館山市議会議員及び館山市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ボスターの作成の公費負担額について、市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担を暫定的に10%減額しようとするもの。

議案第12号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ職員の給与を暫定的に減額しようとするもの。  
主な内容は、8級から3級の1部職員は5%減額、3級の1部及び2級の職員は4%減額、1級の職員は3%減額、住居手当及び管理職手当の減額など。

の被保険者が後期高齢者医療制度に移行した場合の被扶養者に係る国民健康保険税について、後期高齢者医療制度と同様に減免の対象とする期間を延長しようとするもの。

議案第14号 館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ陶芸用炉及び七宝焼用炉について、使用電力量料金相当分の実費を徴収しようとするもの。

議案第15号 館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ陶芸用炉及び七宝焼用炉について、使用電力量料金相当分の実費を徴収しようとするもの。

処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ一般廃棄物処理業等の許可申請手数料を引き上げようとするもの。(3千円↓5千円)

議案第18号 館山市中小企業資金の融資に関する条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ館山市中小企業預託融資の保証料、利子補給の期間及び利率を変更しようとするもの。

議案第19号 安房南部区域農用地総合整備事業負担金等徴収条例の制定についてⅡ独立行政法人森林総合研究所が豊房地域を中心として実施した区画整理事業の受益者負担金について、徴収手続を定めようとするもの。

議案第20号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ空き家になっている市営住宅の用途廃止による戸数の削減により、管理戸数を削減するもの。

議案第21号 館山市下水道条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ下水道排水設備指定工事店の指定に係る経費に合わ

議案第9号 千葉縣市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてⅡ平成22年3月31日をもって組合立国保成東病院及び鴨川市南房総市環境衛生組合が解散することに伴い、組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の一部を改正することについて、関係地方公共団体と協議しようとするもの。

議案第13号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ被用者保険

議案第17号 館山市廃棄物の

せた手数料を改定するもの。  
新規7500円↓1万5千円  
継続7500円↓1万円

議案第22号、議案第26号、平成21年度館山市一般会計補正予算及び4特別会計補正予算＝左

平成21年度一般会計・特別会計補正予算 (単位：千円)

会計名	号数	補正額	予算現額
一般会計	第9号	△ 72,398	17,443,472
特別会計	国民健康保険	19,482	6,523,655
	老人保健	第1号 △ 12,177	12,890
	後期高齢者医療	第3号 3,464	569,082
	介護保険	-	3,905,833
	学童災害共済事業	-	1,681
	下水道事業	第3号 △ 16,501	851,315
合計		△ 78,130	29,307,928

【追加議案】  
議案第27号 平成21年度館山市一般会計補正予算(第10号)(3月19日提出)＝歳入歳出の増減なし。

国の「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」の増額。また、

市民センターホール棟解体工事の繰越明許費の設定。

議案第28号 人権擁護委員候補者の推薦について(3月19日提出)＝人権擁護委員法の規定により、引き続き、佐野昭雄さん(長須賀46番地の1)を推薦しようとするもの。

【議会提案議案】

発議案第1号 館山市議会議員定数等調査特別委員会の設置について＝議会改革の一環として本市の議員定数等はどうあるべきか調査するため特別委員会を設置しようとするもの。

発議案第2号 館山市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について＝市の厳しい財政状況を踏まえ、平成22年度の政務調査費を30%カットしようとするもの。(年額10万円↓7万円)

委員会の審査

定例会における各委員会の審査等について、主なものをお知らせします。

総務委員会

議案6件、陳情2件について審査を行いました。

議案第9号 千葉縣市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉縣市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

条文の改正にとどまるのか、予算に関係するのかが聞かれたところ、国保成東病院と鴨川市南房総市環境衛生組合が解散することに伴う規約の改正であり、予算とは関係ないとの説明がありました。

議案第10号 安房郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

新しい事務所はどこになるのか聞いたところ、現在の地域メディアセンターであるとの説明がありました。

議案第11号 館山市議会議員及び館山市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

の一部を改正する条例の制定について

時限立法であり今年の市長選挙と来年の市議会議員選挙が該当すると思うが、10%の削減でいくらの減額があるか聞いたところ、市長選挙で約15万円、市議会議員選挙で約118万円の効果があると説明がありました。

議案第13号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

国保の被保険者数を聞いたところ、平成20年度実績で11459世帯18317人であり、平成21年度もほぼ同数で推移しているとの説明がありました。

議案第22号 平成21年度館山市一般会計補正予算(第9号) 子ども手当システム導入委託料について現在の館山のシステムにあわせるのか聞いたところ、児童手当の請求権の時効を迎えるまで今のシステムを同時並行で稼働させる必要があり、今のシステムとは別に導入することになるとの説明がありました。

議案6件、陳情1件について審査を行いました。

議案第14号 館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定について

新たにサークル活動から使用電気量相当額を徴収することで、相対的に歳入が増えるのか聞いたところ、今後サークル活動以外の使用は見込めず、事務の煩雑さを避けるため条例を簡素化し、受益者負担という形で実費を徴収し歳入を得るとの説明がありました。

議案第16号 館山市敬老祝金条例の一部を改正する条例の制定について

敬老祝金のそれぞれの対象人数を聞いたところ、80歳が614名、88歳が294名、90歳が26名、100歳以上が50名、合計984名であるとの説明がありました。

議案第23号 平成21年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

滞納管理システムを最初から新基幹システムで運用すれば、債務負担行為をせずに済んだのではないかと聞いたところ、滞

文教民生委員会

納管理システムは必要性があり平成21年度から導入したが、平成23年1月から稼動する新基幹システム導入に取り込めないか検討した結果、可能になったため統合することとし、滞納管理システムの5年間の債務負担行為については廃止するとの説明がありました。

## 建設経済委員会

議案6件、陳情1件について審査を行いました。

**議案第17号 館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

県北の市に比べ手数料が割安ではないか聞いたところ、県北の市では2万円から1万円程度が多い。事務に係る費用が9千円程度であるが、近隣の市では5千円の手数料であるため、整合性をとって総合的に判断し、5千円としたとの説明がありました。

**議案第18号 館山市中小企業資金の融資に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

利子補給の期間及び比率の変更

理由について聞いたところ、申込増加による市の負担が増えたことや、他の融資制度と一律化するためであるとの説明がありました。

**議案第19号 安房南部区域農用地総合整備事業負担金等徴収条例の制定について**

対象農地等に対する今後の支援体制について聞いたところ、災害などの場合は国の制度があり、それ以外の公共施設の場合、市で農道補修などのために資材支給などの制度がある。各自の農地は自己管理となるとの説明がありました。

**議案第20号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

市営住宅の管理運営から民間住宅家賃補助に切り替える考えはないか聞いたところ、考えていないとの説明がありました。また、今後の市営住宅の管理戸数などの方針はあるのか聞いたところ、平成27年度に250戸にする計画があるとの説明がありました。

**議案第21号 館山市下水道条**

**例の一部を改正する条例の制定について**

指定工事店の数の推移及び理由について聞いたところ、平成10年に105件であったものが現在86件であり、工事件数が少ないことなどにより、遠方の業者が更新しなかったことや、廃業した業者がいることなどが減少理由として考えられるとの説明がありました。また、改正金額の設定理由について聞いたところ、改正金額は、指定に係る事務費などを計算してサービス原価を算出した結果によるものであるとの説明がありました。

**議案第26号 平成21年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)**

委託料の減額はクリーンセンターの包括的民間委託の効果なのか聞いたところ、仕様書発注から性能発注という形で包括的民間委託をしたために減額となった。あわせて、これにより職員の仕事量も削減となったとの説明がありました。

## 予算審査特別委員会を設置

平成22年度一般会計及び特別

会計予算の審査に当たり、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、慎重に審査を行いました。

委員は次のとおりです。(◎委員長、○副委員長)

- ◎鈴木 順子 ○榎本 祐三
- 三澤 智 吉田 正二
- 真田 司郎 今井 義明
- 内藤 欽次 松坂 一男
- 小幡 一宏

### 【審査の概要】

主な質疑事項は、次のとおりです。

地方バス路線維持に関連し、便数の減少に伴う乗客離れを改善する方法はないかと聞いたところ、公共交通事業者との連絡会を公共交通会議に発展させバス路線の維持と公共交通の空白地の解消などを検討したいとの説明がありました。

乳幼児医療費給付金の減額が今後の制度変更とどのように関係するのか聞いたところ、給付額の前年度実績と今年度見込みから減額した。県では12月から給付対象を拡大する予定であり市も県にあわせ改正する予定であるとの説明がありました。

火葬場建設事業への負担金は今後どのように増える傾向か聞

いたところ、平成24年秋以降の操業を目指し準備しており、市の一般財源で1億5千万円、償還金が9億円ほどの予定との説明がありました。

南房総地域観光圏整備推進協議会の事業費と内容を聞いたところ、平成22年度は約3800万円を花を全面に出したフラワーツーリズム事業、ライトアップ事業などであるとの説明がありました。

消火栓設置負担金が減額されているが要望に対応できるのか聞いたところ、多額な費用がかかるので様子を見ながら対応し、不注意から火災が起こらないよう啓発に努めるとの説明がありました。

歳入において、マラソン大会参加料の積算根拠を聞いたところ、フルマラソン3500人、10キロメートル2000人、ファミリー300組の合計5800件で積算したと説明がありました。

下水道特別会計に関して、今後の維持管理計画について聞いたところ、供用開始後10年が経過し、主要機器の点検サイクルを定め少しでも延命し補修時期を平準化しよう努めているとの説明がありました。

# 一般質問

市政に関する一般質問は、3月2日及び3日の2日間にわたり、次の11名の議員が行ないました。議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。

## 一般質問通告要旨

	<p><b>内藤 欽次</b></p> <p>①平成20年度決算における経常収支比率悪化の原因と今後の財政健全化に向けての考え方について ②小学校3年生までの医療費無料化について ③安房地域における看護師養成学校の必要性について ④「市民が主役のまちづくりをめざす」とした重点項目について</p>
	<p><b>石井 信重</b></p> <p>①千葉海上保安部館山分室設置に伴う効果等について ②「多目的観光棧橋」と「渚の駅（仮称）」について ③安心・安全のまちづくり、防災対策等について</p>
	<p><b>三上 英男</b></p> <p>安房郡市広域市町村圏事務組合が計画しているごみ処理施設の建設について（ごみ処理広域化基礎調査の中間報告書をふまえて）</p>
	<p><b>真田 司郎</b></p> <p>①「多目的棧橋」と「渚の駅」の完成に伴う市の経済波及効果について ②市の高齢化社会に向けた高齢者の交通ビジョンについて ③火災予防対策と軽減対策について ④幼児教育や義務教育の環境整備や指導について ⑤環境問題である「エコ制度」について ⑥感染症対策としてのワクチン充足について ⑦女性特有の「がん検診事業」の推進状況について ⑧AEDの設置促進について</p>
	<p><b>榎本 祐三</b></p> <p>①財政収支のバランスと見通し、「脱・財政危機」宣言に関して ②多目的観光棧橋関連施設の運営と見通しに関して</p>
	<p><b>鈴木 順子</b></p> <p>①福祉サービスの強化・充実について（施設入所希望者への対応） ②道路網整備について（シンボルロードの工事のあり方・都市計画道路船形館山港線の状況） ③環境対策について（住宅用太陽光発電システムの普及状況・エコ給湯設置補助） ④農漁業について（地産池消のための加工場設置） ⑤教育について（支援員・英語指導配置）</p>
	<p><b>本多 成年</b></p> <p>①館山市次世代育成支援行動計画について ②多目的観光棧橋の利用計画について ③地上デジタル放送2011年放送開始に合わせた市内受信者に対する対応について ④平成22年度施政方針について</p>
	<p><b>秋山 貴</b></p> <p>①「館山市行財政改革方針」の諸施策について（アウトソーシング推進状況・事業仕分けによる効率化・収入未済額の縮減） ②「渚の駅」事業の今後のフローについて（整備計画の進捗状況・物販施設や飲食施設の運営・需要予測）</p>
	<p><b>山口 安雄</b></p> <p>①米のモデル事業・自給率向上事業の概要とメリット・デメリットについて ②農業経営の安定化を図るための市の施策について ③自給率向上、担い手育成について</p>
	<p><b>鈴木 正一</b></p> <p>①農業振興について（休耕田・遊休農地の取り組み、担い手育成、森林環境整備） ②安心、安全のまちづくりについて（地上デジタル放送の現状と難視地区対応、戸別受信機の状況） ③スポーツ振興について（若潮マラソン・今後のスポーツイベント） ④観光振興について（交流人口や定住・移住人口の増加の考え方）</p>
	<p><b>吉田 正二</b></p> <p>①市民が安心できる地域づくりや子育て環境に関して ②市民生活に密着した道路及び河川（排水路・生活道路含む）の整備と補修に関して</p>

※紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、6月上旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムをご覧ください。

# 主な質問と答弁

## 行財政改革

- 財政の健全化
- 財政収支のバランス
- 財政収支の改善
- 事業仕分け

**問** 経常収支比率悪化の原因と財政の健全化に向けての考え方を伺います。

**答** 主な原因は、生活保護費の前年度国費の清算の影響による増や上水道事業への出資金の繰り出し基準の変更により増額となったこと、また、市税収入の減、国からの各種譲与金の減や普通交付税の減が大きな原因です。また、今後の健全財政に向けては、引き続き、行財政改革方針で掲げた取組を粛々と進めていくことだと考えています。

**問** 財政収支のバランスと見通しについて伺います。

**答** 景気後退により今後の見通しについては、依然として不透明であり、税収の大きな伸びは期待できず、加えて国からの

各種交付金の減少などが予想されます。こうした現状から地方の財源不足への対応として、地方交付税の増額など、国の地方財政への配慮がありました。が、

今後も歳入面での厳しい状況が続くものと想定し、平成22年度当初予算では、「一課一削」による事務事業の見直し、各種団体への補助金の削減、人件費の削減など、徹底した歳出削減などにより、段階的な収支改善を目指した予算編成を行いました。

**問** 平成25年に均衡した財政状況に成り得るのか伺います。

**答** 施政方針にあるとおり、「平成22年度の市政の運営は、硬直化した財政構造の健全化に努め、最小の経費で最大の効果を挙げるという自治体運営の基本原則に立ち返り、行財政改革方針を推進しながら、5つの項目に重点を置き取り組んでいく」として重点項目よりも優先した基本的な考え方として行財政改革を位置付けています。今後、平成25年度の収支均衡に向けて行財政改革方針に掲げた改革目標を達成するように努め

ていきます。

**問** 事務事業の見直し（事業仕分け）による効率化について伺います。

**答** 平成19年度から今年度まで37事業で実施をしたところで、仕分けの評価としては、「現行通り」との評価が2事業、

「市が実施すべきだが、改善等が必要」との評価が26事業、「国・県に移行すべき」との評価が1事業、「民間に移行すべき」との評価が2事業、「不要」との評価が6事業となっています。これらの事業については、評価結果をふまえた上で方向性を検討し、更なる行財政改革を推進し効率化を図っているところでです。

## 福祉・保健・医療

- 乳幼児医療費助成
- 子育て環境

**問** 県では乳幼児医療費の小

学校3年までの無料化を予定しているが、市の考えを伺います。

**答** 千葉県は市町村が実施す



元気な広場の様子

る小学校就学前までの児童への助成に対して2分の1を助成しており、12月から助成対象を小学3年生までの児童に拡大しようとするものです。市としては、県の助成対象の拡大に併せて制度を改正したいと考えています。

**問** 元気な広場が開設してからの状況について伺います。

**答** 新型インフルエンザ流行の影響もあり、一時的に利用者は減少しましたが、2月末現在の利用状況は、延べ8352組、18702人となっています。利用者からは、「子育ての不安やストレスが軽減された。」「子どもの成長が実感できる。」「親子の交流の輪が広がった。」など、多くの感謝の声が寄せられ、大変好評をいただいています。

**問** 交流人口や定住、移住人口の増加の考え方について伺います。

**答** 移住、定住に関する取組状況については、NPO法人おせっ会との協働により移住体験ツアーを開催し、首都圏での移住相談会にも参加するなど移住者支援の活動を展開しています。このような取組の成果として、相談件数が1月末で158件にのぼり、また、移住者の人数についても14組33人が移住を完了し、昨年度を大きく上回っています。

**問** 渚の駅の商業施設の運営業者選定基準と需要予測の必要性について伺います。

**答** 民間事業者の選定については、市内の業者であることなどを条件に、選定委員会などを設置する方向で検討してまいります。需要予測については、千葉

## 観光 海辺のまちづくり

- 交流人口の増加
- 渚の駅（仮称）

県によると観光入込客が年間60万人増加すると推計されています。市では、少しでもこの数値に近づけるよう努力してまいります。

問 渚の駅(仮称)の整備状況について伺います。

答 旧安房博物館本館について博物館機能を活かしながら交流拠点施設へ改修する工事に引き続き、本年12月の完成に向け、一部、展望デッキの整備工事を実施してまいります。今後は、

(仮称)海辺の広場について、平成22年度内の完成に向け整備を進め、商業施設や駐車場の整備を含め平成23年度中の全体竣工を予定しています。

# 防災対策

- 防災マップの活用
- 火災予防対策
- 防災無線個別受信機

問 防災マップの活用方法と市民への配布方法について伺います。

答 防災マップは、「自助・

共助・公助」の観点から危険箇所、避難場所など災害時の避難行動に重要ですので、市の防災訓練を始め、各地区の自主防災組織の訓練や学校での授業など、幅広く活用していただきたいと思っております。配布については、広報に折り込んで各世帯に配布する予定になっています。併せて、公共施設などに配布するとともにホームページで公開したいと考えています。

問 火災の予防や被害軽減対策について伺います。

答 火災を起こさない、また、火災から命を守るためにはどうすべきかの防火啓発と住宅火災警報器の設置促進のチラシを全戸配布し、住民の火災予防対策を講じています。消防団におきましても、強風時の夜間警戒パトロールや、春、秋の全国火災予防運動に併せ、「火の用心」の懸垂幕などにより防火意識の高揚を図っています。

問 区長宅等に設置してある個別受信機が、場所により聞こえないことについて伺います。

答 地形などにより個別受信機からの放送が聞こえない地区があることは認識しています。

対応策として、中継局の設置が考えられますが、設置には多額の費用がかかるため、電話で放送内容の確認のできるシステムを設置する方向で考えています。また、屋外拡声子局を未整備地区に優先的に設置するほか、安心メール、地元消防団による広報や区長宅へ直接電話するなど、引き続き、災害情報が迅速に伝わるよう対応してまいります。



館山市防災マップ

# 教育

を「図ること」「思いやりのある豊かな心と健やかな体を育むこと」等を学校・家庭・地域との連携を密にしながら安全・安心で信頼できる学校づくりを目指して指導に当たっています。教育環境の整備については、教育機器・教材教具の整備充実や学校図書の実用性・充実性とともに、建物の耐震改修や老朽化対策など計画的な施設整備の推進に努めています。

問 学校への支援員、英語指導員(ALT)の配置状況と次年度の配置予定について伺います。

答 特別支援教育学習支援員の配置については、平成20年度より「館山市特別支援教育学習支援講師配置事業要綱」を策定し、配置を要する児童生徒が在籍する小中学校に適宜配置を行っております。実績としては、平成20年度は5校に5人、平成21年度は10校に14人の配置をしており、次年度も今年度同等規模の配置を予定しています。外国語指導助手の配置は、平成20年度の途中まで(財)自治体国際化協会が実施する外国語青年招致事業により人材を確保していましたが、指導助手の安定的な質

問 少子化が進み、幼児教育・義務教育の重要性が問われている中、市の教育環境整備や指導について伺います。

答 幼児・児童・生徒の意欲を引き出し「確かな学力の向上

の確保・バランスのとれた授業展開・予算の効率化等を総合的に考慮したなか、民間事業者への業務委託に切り替え実施しています。今年度は2名の指導助手を配置し、中学校はもとより平成23年度から完全実施される小学校にも併せて派遣しています。次年度も今年度と同規模の配置を予定しており、引き続き最大の活用をしていきたいと考えています。

# 環境

問 安房郡市広域市町村圏事務組合が計画しているごみ処理施設は焼却を主としているが、資源循環型社会構築との整合性について伺います。

答 基礎調査の段階でありますが、一般廃棄物をすべて焼却する施設を建設するというのではなく、分別の徹底などにより再資源化を推進し、ごみが減っていくことを前提とした計画になっており、今後そのように進められると考えています。

問 ごみ処理施設の建設費の見積額200億円の70パーセントは交付金対象となっているが、市の概算の負担額について伺

土木

ます。

**問** 今後、詳細な事業計画の策定を進めることにより、事業費、交付金の対象工種及び率などを確定し、負担額を算出することになっていきます。

**答** 東京電力館山営業センターに伺ったところ、2月現在で市内において316世帯に設置されているとのことです。昨年同時点で266世帯でしたので50世帯増加した事になります。昨年の1月までは年間平均30世帯でしたので、それに比べ、設置数が20世帯伸びました。なお、補助金については、32件の申請がありました。エコ給湯については、太陽光発電システムとセットで設置される事が多くその割合によって温室効果ガスの削減効果が発揮される設備となっております。そのため、限られた財源の中で最大の効果を生み出すためにも、太陽光発電システムに絞っての補助金として



シンボルロード

**問** シンボルロードの工事時期・期間への考え方を伺います。

**答** 本工事は既存の道路を供用しながら施工していることから、車線の振替えにより道路形状が大きく変わり、一般利用者をはじめ、若潮マラソン参加者には、大変ご不便をお掛けしたところですので。工事時期、期間につきましては、5年間の継続事業であり、平成22年度が最終年度となりますが、現在行っている車道部の施工については、3月中旬の完了を目途に工事を進めています。この部分が完成することにより、車線の振替えを伴うことなく車道部の通行ができるものと考えています。その後の予定としては、車道部を供用しながら歩道部の整備に移り、できる限り早期の工事完了を目指し、鋭意努力していきます。

農業・漁業

**問** 米のモデル事業、自給率向上事業の概要とメリット・デメリットを伺います。

**答** 米のモデル事業については、生産数量目標に従い米の作付を行う販売農家に水田農業を継続できる環境を整えることを目的として、恒常的に赤字に陥っている米に対して、10アール当たり1万5千円が国から直接所得補てんされる事業です。この事業のメリットについては、国では「効率的な経営を行うほど報われる」、「定額助成が行われることにより、担い手の経営安定を図り、将来の構造改革の誘引が図られる」、「すべての農家が経営発展のための取組を公平に行う環境を整う」と説明しています。デメリットについては、「モデル事業に参加しなかった場合、米の販売価格が下落した場合の補償が一切ない」などが考えられます。自給率向上事業については、自給率向上のポイントとなる麦・大豆・米粉用米・飼料用米などについて、生産拡大を促すため、水田を有効活用し、これらの作付面積に対して水稲生産調整の達成の有

無を問わず全国統一単価で交付される事業です。この事業のメリットについては、国では「米の需給調整に関する規制やペナルティの扱いからの解放」と説明しています。また、デメリットは「これまで市町村で独自に設けていた取組への助成が対象外となった」、「交付を受けるために出荷販売契約書や作業日誌など資料等の提出が必要となった」などが考えられます。

**問** JAや漁協と協働して、年間を通じ雇用を創出できる食品加工場を設置できないか伺います。

**答** 安定した経営を図るうえで、共撰出荷に取り組む農家において地産地消の推進は相反する面もあります。しかしながら、出荷規格に適合しない生産物にあつては、加工処理等により地域での消費につながるものと期待しています。また、漁業においては、恵まれた立地条件により鮮魚での流通を主としており、一部が地元で加工処理されている状況となっています。加工に関する取組は「農水産業の新しい形」として提唱されている第1次産業者が自ら食品加工や流通に取り組み「6次産業化」を

推進し、必要に応じ補助事業等の活用により支援していきたいと考えています。

地上デジタル放送

**問** 中継局開局後でもテレビが視聴できない場合の市の対応について伺います。

**答** 平成13年の放送法の改正により、平成23年7月で地上アナログテレビ放送が終了するため、現在「総務省千葉県テレビ受信者支援センター、通称「デジサポ千葉」が、市内で66回の市民説明会を実施しています。また、現在、受信エリア拡大のため、白浜中継局の整備が進められています。中継局が開局した後も、地上デジタル放送を受信できない世帯については、引き続きデジサポ千葉、総務省デジコールセンターが、相談窓口となり対処することになっていきます。地上デジタル放送移行で新たに発生する難視を解消するためには、国策として進められていることから市民負担が軽減されるよう千葉県市長会等を通じて国に要請しているところです。

### 職員の組織改編

問 職員の組織改編について、グループ制から早い改編で必要性が分かりづらいが、どのような考えか伺います。

答 グループ制の導入は、フラットな組織とすることによって、4年間で47人の職員を削減することができ、十分な効果がありました。反面、職員数の減少により、組織として職員を育成する面が弱まり、係長職がなくなったことによる、責任の不明確さや職員のモチベーションの低下が心配されるなどの弊害も生じ、また、担当が分かりづらいとの指摘もありました。グループ制により、職員相互に協力し合う意識が定着してきましたので、グループ制のメリットを残しながら係長職を置くことにより、職員に責任とやる気を持ってもらうことを目的とし、係制導入を決定しました。

### 若潮マラソン大会

問 若潮マラソン大会の参加者が増えた要因とその効果について伺います。

答 今大会は、史上最多となる7889名のエントリーがありました。参加者が増えた要因としては、1つ目として、フルマラソンの部の制限時間を30分延長し、6時間としたこと、2つ目として、近年のランニングブーム、3つ目として、30回目の記念大会などが挙げられます。参加者の増加に伴い、宿泊施設の利用も増え、前回大会の倍以上の宿泊者数となっております。それに、同伴者の宿泊も多いものと思われ、飲食や土産物の購入などの経済波及効果、館山市のPR効果も大きいものと考えます。さらに、今大会では、参加料の改定により、歳入の増加が図られたことや、大会運営方法を見直し、歳出の縮減に努めた結果、大会史上初めて、大会のみの収入で運営できたことで、市への財政的な負担の軽減を図ることができました。



館山若潮マラソン大会

### 本市への視察訪問

2月8日 山梨県韮崎市議会の議員が商業活性化のための取り組みについて視察のため来館しました。

2月10日 愛知県尾張旭市議会の議員が館山景観オーナー制度・観光立市たてやま行動計画について視察のため来館しました。

2月16日 山形県南陽市議会の議員が少子化対策について視察のため来館しました。

4月16日 北海道紋別市議会の議員が館山港港湾振興ビジョンについて視察のため来館しました。

### オーストラリア・ポートステイブンス市を訪問

2月3日から9日までの間、金丸市長を団長とする訪問団に吉田恵年議長も加わり、姉妹都市締結の再確認調印式のため、オーストラリア・ポートステイブンス市を訪問しました。

### 会議録の検索・閲覧

第1回臨時会、3月定

例会及び委員会の会議録は、6月上旬にホームページから検索・閲覧ができます。

また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。

### 市議会を傍聴しませんか!

傍聴の手続きは、希望する当日に議会事務局(市役所2階)前で用紙に住所、氏名等を記載するだけです。

また、本会議を開いている時は、インターネットで、本会議の生中継を配信していますので、ご利用ください。(館山市のホームページでご覧になれます)

### 編集後記

依然、景気は低迷し、地域経済は厳しさを増しています。また、市の財政も大変厳しい状況を迎えています。このような中、第1回臨時会では地域活性化のための補正予算を審議いたしました。また、3月議会では、平成22年度予算などを審議しました。また、市民の方々をはじめ市職員、議会が共に痛みを伴う議案なども慎重に審議しました。議会として責任の重さを改めて感じています。

議会として、チェック機能等を十分發揮し、市の明るい将来に向けた活動に取り組んでいきます。そして、編集委員一同も、議会の動きが市民の皆様につながるよう、議会だよりの編集に取り組んでいきます。

議会や議会だよりに関することのご意見、ご質問等は議会事務局まで電話又はメール(番号及びアドレスは表紙参照)でご連絡ください。

\*\*\* 議会報編集委員会 \*\*\*

(◎)委員長 (○)副委員長

◎小幡 一宏 ○山口 安雄  
榎本 祐三 早船 亮一

### 次の定例会の予定

開会日：6月10日(木) 午前10時～  
一般質問：6月15日(火)、16日(水)  
予備日：17日(木)  
各日それぞれ午前10時～  
請願・陳情提出締切：  
6月4日(金) 正午まで

## 平成22年第1回臨時会提出議案議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	平成21年度館山市一般会計補正予算(第8号)	原案可決 全会一致

## 平成22年3月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第2号	平成22年度館山市一般会計予算	原案可決 賛成多数
議案第3号	平成22年度館山市国民健康保険特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第4号	平成22年度館山市老人保健特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第5号	平成22年度館山市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第6号	平成22年度館山市介護保険特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第7号	平成22年度館山市学童災害共済事業特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第8号	平成22年度館山市下水道事業特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第9号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決 全会一致
議案第10号	安房郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決 全会一致
議案第11号	館山市議会議員及び館山市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第12号	館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第13号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第14号	館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第15号	館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第16号	館山市敬老祝金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第17号	館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第18号	館山市中小企業資金の融資に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第19号	館山市南部区域農用地総合整備事業負担金等徴収条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第20号	館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第21号	館山市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第22号	平成21年度館山市一般会計補正予算(第9号)	原案可決 全会一致
議案第23号	平成21年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決 全会一致
議案第24号	平成21年度館山市老人保健特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
議案第25号	平成21年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
議案第26号	平成21年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
議案第27号	平成21年度館山市一般会計補正予算(第10号)	原案可決 全会一致
議案第28号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
陳情第20号	障害福祉サービス等に関する陳情	継続審査 (文教民生委員会)
陳情第21号	東京湾口エリアにおける公共交通問題に関する陳情	継続審査 (総務委員会)
陳情第22号	公契約条例の制定を求める陳情書	継続審査 (総務委員会)
陳情第23号	最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める陳情書	了承できない (建設経済委員会)
発議案第1号	館山市議会議員定数等調査特別委員会の設置について	原案可決 全会一致
発議案第2号	館山市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致